

中宮中だより

No. 5

平成29年(2017年)7月10日
枚方市立中宮中学校
校長 鶴島 茂樹

「ちょっと怖いお話」・・・「情報リテラシー」

先日、情報技術推進ネットワークの篠原嘉一氏をお招きして、みなさん全員を対象に、「情報リテラシー講演会」を実施しました。

みなさんの感想文からいくつか拾ってみました・・・

3年生

・今日の講演を聴いて、スマートフォン(LINE、その他のアプリなど)の使い方を改めようと思った。ちょっとしたことが、高校、将来に大きな影響を与えると思うので、気を付けたい。

大人の人にも使い方を教えて、情報モラルについてもっと話していこうと思った。

・出会い系サイトや広告をクリックするだけで、乗っ取りやストーカーが始まるとなると、とても恐怖を感じました。しかも、現在地や会話を知られたり聞かれたりするなど、想像するだけでもゾッとしました。

機械、技術が発達して便利になるのはいいけど、犯罪などには使ってほしくないと思いました。

・今はほとんどアプリも入れていないし、「ライン」もしていないけれど、将来使う機会があれば今日の講演を思い出し、情報の流出を防ぎたい。

他の人が起こした事件がきっかけで、自分の過去に撮った写真などがネット上に流出してしまうという怖さも知った。「デジタルタトゥー」とあったように、ネットに投稿した写真や文章は一生消えないので注意したい。

2年生

・「SNOW」で位置情報がばれることは知っていましたが、でも「LINE」でもばれるのは知らなかったのでおどろきました。顔写真だけで自分のプロフィールが特定されることにもびっくりしました。

・まずは「SNOW」で写真をのせるだけで名前や住所がわかることがものすごく怖かったので、家に帰ったらすぐに必要な設定をしようと思いました。

インスタ、フェイスブック、ツイッターをやっていないので安全だと思っていたのに、「LINE」や「ミクチャ」をやっているの、同じ危険を持っていることがわかりました。

*今回は1年生の感想文は載せていませんが、後ろの方から身を乗り出して聞いている人もいて、2、3年生よりも関心が高かったのではと思います。

便利な機械、ツールを使うのは人間です。逆に機械やツールに振り回され使われる人間にだけにはならないよう、正しい知識と判断力を持ちたいものです。

そして、人と人、人間同士の本当のコミュニケーションは、顔と顔を突き合わせて話すことが当たり前で基本であるということと言うまでもないことです。

「宮之阪七夕祭り」吹奏楽部、暑いなか、熱い演奏

お疲れ様でした！！

大勢の観客の前で堂々たる演奏でした。中宮中生もたくさん応援に来てくれました。



<中宮中学校ビブリオバトル「プレ大会」実施！！>

図書便りにも紹介されていたように、先日、図書委員によるビブリオバトルが行われました。

*ビブリオバトルとは

「知的書評合戦」とも言われ、何人かで集まって、自分が面白かったと思う本についてそれぞれ5分程度で紹介し、それを聞いたみんなが「読みたくなった本」を選んで投票し、「(チャンプ本)」を決定するというものです。したがって本の選び方、読解力、説明力の全てが問われる非常に知的なゲームです。

今回は、2年4組の中村祐大くんが紹介した「聖女の救済」(東野圭吾著)が見事「チャンプ本」に選ばれました。

2学期には図書委員会主催で、中宮中生徒全員に呼びかけて本格的な「ビブリオバトル」を開催する予定だそうです。

お楽しみに・・・そして、積極的な参加を期待しています。